



2024年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年4月30日

上場会社名 株式会社アズーム 上場取引所 東
コード番号 3496 URL <https://azoom.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 菅田洋司
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 馬場涼平 TEL 03-5365-1235
四半期報告書提出予定日 2024年5月10日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有 (機関投資家及びアナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第2四半期の連結業績 (2023年10月1日～2024年3月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第2四半期	4,918	27.3	840	41.3	838	41.2	584	45.3
2023年9月期第2四半期	3,863	27.9	594	40.6	593	41.0	402	35.9

(注) 包括利益 2024年9月期第2四半期 582百万円 (45.8%) 2023年9月期第2四半期 399百万円 (33.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第2四半期	99.09	97.63
2023年9月期第2四半期	68.37	67.25

(注) 当社は、2022年12月27日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第2四半期	4,541	3,043	66.5
2023年9月期	3,983	2,575	64.1

(参考) 自己資本 2024年9月期第2四半期 3,021百万円 2023年9月期 2,553百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	-	0.00	-	20.00	20.00
2024年9月期	-	0.00	-	-	-
2024年9月期 (予想)	-	-	-	25.00	25.00

(注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2 当社は2022年12月27日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2023年9月期の期末配当金及び2024年9月期(予想)の1株当たりの配当金については、当該株式分割後の配当金の額を記載しております。

3. 2024年9月期の連結業績予想 (2023年10月1日～2024年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000	20.9	1,800	40.4	1,790	39.9	1,160	32.0	196.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 - ② ①以外の会計方針の変更：無
 - ③ 会計上の見積りの変更：無
 - ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年9月期2Q	6,021,600株	2023年9月期2Q	6,010,000株
② 期末自己株式数	2024年9月期2Q	118,276株	2023年9月期2Q	118,276株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年9月期2Q	5,900,804株	2023年9月期2Q	5,886,251株

(注) 当社は、2022年12月27日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日において判断したものであります。

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待されております。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが景気を下押しするリスクとなっており、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等が当社グループに与える影響は不透明であり、今後も引き続き注視し、適切な対応を講じてまいります。

当社グループの経営環境としましては、遊休資産活用事業に主として関連する駐車場業界において、インターネットを活用した月極駐車場の紹介依頼需要は増加しており、オフィスビルや分譲マンション等における駐車場空き区画の収益化に対する需要も依然として拡大しております。さらに、従来は店舗型の不動産仲介業者にて月極駐車場を探していたユーザーが、当社が運営するポータルサイトを通じてインターネット経由で流入するケースがより増えてきております。また、サービスが多様化し、インターネットを活用した駐車場状況を提供するシステム等が普及してきております。

ビジュアライゼーション事業においては、経済活動の正常化にともない、当社グループが提供する不動産画像に対する需要は回復してきております。さらに非対面での営業ツールとして、VR技術を用いたバーチャルショップの開発・制作を行い、事業規模を拡大しております。

このような経営環境のもと将来的な収益力の強化を目的として、引き続き既存社員の育成や新規の営業人員の獲得に努め、新規案件の獲得のための積極的なアプローチを行えるような営業体制の強化に注力するとともに、ベトナム子会社（AZOOM VIETNAM INC. 及びCGWORKS VIETNAM INC.）でのシステム開発・グラフィックデータ制作の体制を強化するための投資やリモート環境等の制約に関わらず営業活動を継続できるようIT面での新たな技術の開発を引き続き行ってまいります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は4,918,480千円（前年同期比27.3%増）、営業利益は840,092千円（前年同期比41.3%増）、経常利益は838,018千円（前年同期比41.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は584,693千円（前年同期比45.3%増）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

① 遊休資産活用事業

遊休資産活用事業セグメントは、当社がインターネット上で運営する月極駐車場のポータルサイト「CarParking」（以下、「カーパーキング」といいます）を経由して、駐車場の紹介を行う「月極駐車場紹介サービス」と、駐車場オーナーから空き駐車場を当社がマスターリース（一括借り上げ）し、月極駐車場としてユーザーにサブリース（貸し付け）を行う「月極駐車場サブリースサービス」を中心として事業を行っております。当第2四半期連結累計期間においては、カーパーキングを通じたインターネット経由でのユーザーの流入増加を背景に、引き続き既存社員の営業力強化やリモート環境下での営業活動推進に努め、マスターリース台数及びサブリース台数のいずれも堅調に推移し、当第2四半期連結累計期間における駐車場問い合わせ件数は135,769件となり、当第2四半期連結会計期間末におけるマスターリース台数（受託台数）は25,189台、サブリース台数（稼働台数）は23,218台となりました。あわせて、株式会社鉄壁が提供する月極駐車場特化型の賃料保証サービスの契約件数も堅調に推移しております。また、顧客による貸し会議室やジム、スタジオ等のレンタルスペースの運営をサポートするWEB予約システム「スマート空間予約」においては、カスタマイズ対応案件のニーズが高まっており、2024年3月に旅客フェリー予約管理システム「スマートフェリー予約」を開発しサービス提供を開始いたしました。加えて、株式会社ダイバースは当社グループへの人材紹介を中心に事業を行っております。また、前連結会計年度より、空き家問題に対する取り組みの一環として中古住宅を取得し、収益最大化を模索しながら事業に取り組んでおります。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は4,821,006千円（前年同期比28.2%増）、セグメント利益は842,894千円（前年同期比42.6%増）となりました。

② ビジュアライゼーション事業

ビジュアライゼーション事業セグメントは、不動産の可能性をより視覚的に伝えることを可能にするため、3DCG技術等の専門的なスキルを活用し、建物や空間の利用方法及び完成イメージをグラフィックデータとして制作し、販売するとともに、VR技術を用いて顧客の要望に応じた空間デザインのサービスを提供しております。当第2四半期連結累計期間においては、既存社員の技術力や営業力の強化に注力しつつ、多様な営業提案が可能となるように事業基盤の拡大に努めました。これにより、グラフィックデータ作成の発注元であるディスプレイ業者の景気回復と消費者行動のオンライン化に伴うVR技術の普及を背景に、事業規模は拡大しております。また2024年3月にラフスケッチ・写真・CGパースなどの画像をアップロードし、スタイルを選択するだけで質の高いデザイン案を短時間でレンダリングする生成AIによるレンダリングサービス「MyRenderer（マイレンダラー）」を開発しサービス提供を開始いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は101,473千円（前年同期比1.6%減）、セグメント損失は742千円（前年同期はセグメント利益3,386千円）となりました。

(2) 財政状態の分析

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は3,491,697千円となり、前連結会計年度末に比べて434,573千円増加しております。その主な要因は、業績が堅調に推移したことに伴い現金及び預金が294,001千円増加したこと、中古住宅の仕入に伴い販売用不動産が51,941千円増加したこと、ならびに、月極駐車場の受託台数の増加に伴い前払費用が56,598千円増加したことによるものであります。固定資産は1,049,760千円となり、前連結会計年度末に比べて123,851千円増加となっております。以上の結果、総資産は前連結会計年度末に比べて558,425千円増加し、4,541,458千円となっております。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は1,120,710千円となり、前連結会計年度末に比べて68,132千円増加しております。その主な要因は、稼働台数及び株式会社鉄壁の賃料保証委託契約の増加に伴い月極駐車場サブリースユーザーからの前受収益が42,203千円、契約負債が7,015千円増加したことによるものであります。固定負債は377,097千円となり、前連結会計年度末に比べて22,161千円増加しております。その主な要因は、稼働台数の増加に伴い月極駐車場サブリースユーザーからの預り保証金が7,224千円増加したことによるものであります。以上の結果、負債合計は前連結会計年度末と比べて90,293千円増加し、1,497,807千円となっております。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は3,043,650千円となり、前連結会計年度末に比べて468,132千円増加しております。その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益を584,693千円計上したことにより利益剰余金が同額増加したことによるものであり、自己資本比率は66.5%（前連結会計年度末は64.1%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は2,389,938千円となり、前連結会計年度末から294,001千円増加しました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果獲得した資金は546,030千円（前年同期は261,807千円の収入）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益838,018千円を計上したこと、法人税等の支払による支出292,131千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果支出した資金は135,220千円（前年同期は105,502千円の支出）となりました。これは主に無形固定資産の取得による支出122,355千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果支出した資金は116,765千円（前年同期は78,105千円の支出）となりました。これは主に配当金の支払による支出117,952千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点の連結業績予想につきましては、2023年11月10日の「2023年9月期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,095,936	2,389,938
売掛金	106,638	124,647
仕掛品	1,548	2,288
販売用不動産	288,995	340,937
前払費用	535,586	592,185
その他	38,624	56,804
貸倒引当金	△10,205	△15,103
流動資産合計	3,057,123	3,491,697
固定資産		
有形固定資産	134,860	125,022
無形固定資産		
のれん	47,225	43,289
その他	249,740	329,619
無形固定資産合計	296,965	372,908
投資その他の資産		
差入保証金	200,168	221,474
その他	307,867	341,565
貸倒引当金	△13,952	△11,211
投資その他の資産合計	494,083	551,829
固定資産合計	925,908	1,049,760
資産合計	3,983,032	4,541,458
負債の部		
流動負債		
未払金	117,665	123,144
未払法人税等	285,233	266,543
前受収益	270,393	312,596
契約負債	95,841	102,856
賞与引当金	57,667	58,412
1年内返済予定の長期借入金	43,759	32,715
その他	182,018	224,442
流動負債合計	1,052,578	1,120,710
固定負債		
長期借入金	58,029	68,971
預り保証金	233,496	240,720
退職給付に係る負債	10,800	14,700
資産除去債務	52,610	52,705
固定負債合計	354,936	377,097
負債合計	1,407,514	1,497,807
純資産の部		
株主資本		
資本金	63,804	64,954
資本剰余金	789,520	790,670
利益剰余金	1,874,058	2,340,765
自己株式	△180,516	△180,516
株主資本合計	2,546,866	3,015,875
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	6,494	5,431
その他の包括利益累計額合計	6,494	5,431
新株予約権	19,040	19,940
非支配株主持分	3,116	2,403
純資産合計	2,575,518	3,043,650
負債純資産合計	3,983,032	4,541,458

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
売上高	3,863,247	4,918,480
売上原価	2,224,626	2,869,438
売上総利益	1,638,621	2,049,042
販売費及び一般管理費	1,044,196	1,208,950
営業利益	594,425	840,092
営業外収益		
その他	38	704
営業外収益合計	38	704
営業外費用		
支払利息	349	443
為替差損	375	2,194
その他	100	140
営業外費用合計	825	2,777
経常利益	593,638	838,018
税金等調整前四半期純利益	593,638	838,018
法人税、住民税及び事業税	180,547	273,440
法人税等調整額	9,839	△19,450
法人税等合計	190,386	253,990
四半期純利益	403,251	584,027
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	819	△665
親会社株主に帰属する四半期純利益	402,431	584,693

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益	403,251	584,027
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△3,542	△1,063
その他の包括利益合計	△3,542	△1,063
四半期包括利益	399,708	582,964
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	398,889	583,630
非支配株主に係る四半期包括利益	819	△665

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	593,638	838,018
減価償却費	47,036	58,917
のれん償却額	3,935	3,935
支払利息	349	443
売上債権の増減額 (△は増加)	△21,195	△18,009
販売用不動産の増減額 (△は増加)	△41,629	△51,941
前払費用の増減額 (△は増加)	△52,103	△56,598
前受収益の増減額 (△は減少)	45,694	42,203
契約負債の増減額 (△は減少)	10,095	7,015
差入保証金の増減額 (△は増加)	△21,730	△21,305
預り保証金の増減額 (△は減少)	△56,455	7,224
未払金の増減額 (△は減少)	△12,510	5,478
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2,939	2,156
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,012	744
その他	△15,812	20,296
小計	481,238	838,577
利息及び配当金の受取額	38	27
利息の支払額	△349	△443
法人税等の支払額	△219,119	△292,131
営業活動によるキャッシュ・フロー	261,807	546,030
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△23,511	△6,223
無形固定資産の取得による支出	△71,967	△122,355
その他	△10,023	△6,642
投資活動によるキャッシュ・フロー	△105,502	△135,220
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	30,000	30,000
長期借入金の返済による支出	△26,668	△30,102
配当金の支払額	△88,208	△117,952
その他	6,771	1,289
財務活動によるキャッシュ・フロー	△78,105	△116,765
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,127	△42
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	76,071	294,001
現金及び現金同等物の期首残高	1,774,447	2,095,936
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,850,519	2,389,938

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 2022年10月1日 至 2023年3月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結財務 諸表計上額
	遊休資産活用事業	ビジュアライゼーシ ョン事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,760,082	103,165	3,863,247	—	3,863,247
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,760,082	103,165	3,863,247	—	3,863,247
セグメント利益	591,039	3,386	594,425	—	594,425

(注) セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2023年10月1日 至 2024年3月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結財務 諸表計上額 (注) 2
	遊休資産活用事業	ビジュアライゼーシ ョン事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,817,006	101,473	4,918,480	—	4,918,480
セグメント間の内部売上 高又は振替高	4,000	—	4,000	△4,000	—
計	4,821,006	101,473	4,922,480	△4,000	4,918,480
セグメント利益又は損失 (△)	842,894	△742	842,151	△2,059	840,092

(注) 1 売上高の調整額はセグメント間取引高の消去額であり、セグメント利益の調整額はセグメント間取引消去に伴う調整額であります。

2 セグメント利益又は損失の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。